

寺報 傘かえで

No. 17

発行 遍照山慈光寺
久慈市大川目町22
Tel 55-2660
編集 田表永七

高副住職本山執事に就任

財務執事として六月から執務

本山出向中の慈光寺は大悟和尚が専従

高谷剋行副住職は、本山の要請を受けて、本山執事に就任し去る六月一日から、本山に出向しております。副住職が本山出向中は、ご長男大悟和尚がその任を代行することになります。

ごあいさつ

檀家のみなさまにはお変わりなくお過ごしのことと拝察いたしております。

本山に出仕して約2か月、無我夢中で毎日を送っています。

当初は、比較的適し易かったのですが、

梅雨が明けてからは、連日30度を越す強烈な暑さに悲鳴をあげております。



梅雨が明けてからは、連日30度を越す強烈な暑さに悲鳴をあげております。

私は、かねがね時間にゆとりができたから本山にご奉仕したいと思っております。しかし、私のような非力の者にお呼びがかかる筈がないと諦めていました。今回はからずも、本山からお声をかけていただき、責任役員の方々や家族の同意を得て、本山で執務することになりました。私の職務は、「執事」で、本山には、3名の執行があります。私は、財務執事ですが、他に宗務執事と庶務執事がおります。私の任期は、平成13年9月までとなっておりますが、どうか留守中は、

息子大悟に対し、格別のお力添えをお願いいたします。

本山での日常生活

本山での一日は、朝5時の大鐘太鼓の音と共に始まります。急いで洗顔して本堂に向かい約1時間の朝勤行をお勤めします。お上人様が本堂に出られる際には、伴僧として香炉を捧げ持って先導することもあります。

朝食は、7時半から8時までに行っていて、8時半から執務いたします。日中は、全国から来る団体参拝や本山の檀家の年回法要等が随時ありますので、その度に法衣に着替えて本堂に出ることになります。

執務が終わるのは6時頃で、お上人、役僧、修業僧の順に入浴してから夕食をいただきます。たまには気の合う役僧同士で盃を汲み交わすこともあります。

財務執事の仕事

本山では、毎日さまざま名目のお金がかかります。その日に動いたお金は、その日のうちに勘定整理し記帳しますが、帳尻を合わせて金庫に納めるまで、神経を使う仕事です。

また当面の大事業として、食堂の建設推進があります。

食堂とは、役僧や修業僧などの食事調理したり食事したりする施設のことです。また、檀家のみなさんがおまいりしたり宿泊したりする時にも使う所です。現在の食堂は、相当老朽化が進んでいるので、全面的に新しくするという計画になっていきます。

計画では、修業僧が勉強する教室や会議室、催事室なども含まれていて総費は2億円を超える額です。

この資金づくりも財務執事の仕事ですが、時節柄資金の捻出も大変です。以上近況をお知らせしましたが、元気でおりますのでご休心ください。

どうかこちらにお出かけの際はぜひ立ち寄りください。

高谷剋行

法要予約について

副住職が本山出向中は、大悟和尚が法要全般をお勤めするので、みなさまの協力を願います。

ついては、法要日程の予約は、余裕をもって1か月前にご連絡くださるようお願いいたします。